

国際交流基金 日ASEANグローバル・パートナーシップ強化助成事業

## 現場の学びを循環し、教師の実践知を進める 日本・ASEAN教育改革プロジェクト

### 参加者募集要項

【主催・お問い合わせ】

認定特定非営利活動法人SALASUSU

Email: [jf-learningjourney@salasusu.com](mailto:jf-learningjourney@salasusu.com)

公式サイト: <https://salasusu.com/>

#### 1. プログラムの背景と目的

日本とカンボジア、双方の学校教育の第一線に立つ実践者は、多忙化や孤立、あるいはトップダウン型の教育政策によって現場の声がシステムに反映されにくいという、共通の構造的課題に直面しています。

本プログラムは、認定NPO法人SALASUSUが国際交流基金の助成を受け、両国の教育実践者（教員、研究者、行政・政策関係者等）計16名（各国8名）を結ぶ2年間のリトリート型研修・研究プログラムです。国境を越えた対話、授業観察、そして参加型アクションリサーチ（PAR）を通じて、現場に埋もれている「実践知」を体系化し、それぞれの国での教育改革や政策提言を牽引するリーダーを育成し、その改革を互いに支えあうコミュニティをつくることを目指します。

#### 2. 活動内容・スケジュール

本プログラムは、2026年7月～2028年3月までの期間で実施します。3つの活動を主な柱とし、全体を通してU理論をベースとした設計を予定しています。

##### ① Learning Journey（越境リトリート）

子どもたちの学びを深く観察する「授業研究」や参加者同士の対話を通じて、自身の教育観やメンタルモデルを問い直します。1年目は日本、2年目はカンボジアの教育現場をそれぞれ1週間程度相互に訪問し、対面での学び合いを行います。

##### ② 参加型アクションリサーチ（Participatory Action Research: PAR）

参加者の問題意識から研究テーマを設定し、日本・カンボジア双方の教育研究者によるメンタリングを受けながら、

現場での実践と研究を統合します。成果は「フォトボイス」などの手法で表現し、学会や写真展、政策提言レポートとして社会へ発信します。

### ③ オンラインプラットフォームでの協働

日々の実践や授業アーカイブ、対話の記録、PARの進捗は、情報共有プラットフォーム(Notion等を予定)を活用して蓄積します。渡航期間以外も、オンラインセッションを通じて継続的に交流を行い、ともに長く続いていく教育改革を支えあうコミュニティを育みます。



## 3. 本プログラムに参加するメリット

本プログラムへの参加を通じて、以下のような機会を得ることができます。

- 背景の異なる日本・カンボジア双方の参加者との、国境を越えた学びあいのコミュニティへの参加
- 日本・カンボジアの双方の教育現場訪問の機会
- 教育専門家による、プログラムを通じた研究指導・対話機会
- 教室など現場での気づきや実践知を、制度に反映させるための取り組みの機会
- 異なる教育制度・文化的背景を持つ同僚との対話を通じた、多角的な視点の獲得
- 対話の中で自身の実践を振り返るプロセスを通じた、キャリア・専門性の構築

## 4. 募集定員・対象

定員：8名（カンボジア側からも同数が参加予定）

対象者：

- 日本の小学校、中学校、高等学校教員（公立・私立、校種・教科不問）
- 日本の教育改革、教師支援、教育政策に携わる行政関係者、非営利組織関係者、企業関係者
- 日本の教育分野の研究者（アクションリサーチのためのフィールド・実践の場をお持ちの方）

## 5. 応募要件

以下の条件をすべて満たすことを応募の原則といたします。

### ①プログラム実施期間内の活動に最後まで積極的に関わること

2026年7月～2028年3月までの間に実施される活動に、積極的に最後まで関わることを原則とします。プログラム期間中は、Learning Journeyに加えて、月1回程度のオンラインセッションやそれに付随するPARの取り組みが通年で予定されています。

### ②所属校・組織による参加の承諾を得ていること

【応募時】事前に学校長や所属組織の長に本プログラムへの応募について相談・共有していることを確認の上、ご応募いただきます。

【内定後】プログラムの本格始動（8月中旬）までに、所属先から「2年間のプログラム参加および平日のオンラインセッションへの参加・1週間程度の海外渡航等の活動」に関する正式な参加許可・承認を得ていただきます。正式な承認を得られない場合、プログラムへの参加を見送らせていただく場合があります。

### ③国を越えた参加者間の学びあいに意欲的に取り組めること

日本からの参加者同士はもちろん、カンボジアからの参加者との学びあいにも積極的に取り組む姿勢があること（英語が堪能である必要はありませんが、自分なりにコミュニケーションをとることに挑戦できる方を歓迎します）。

### ④プログラムの学びを日本の教育現場に還元する意欲があること

背景の多様な参加者同士から学んだことを持ち帰り、自身の実践に反映したり、同僚に共有するなど、日本の教育現場に還元する意欲のある方を歓迎します。

### ⑤様々なツールの利用に抵抗がないこと

プログラム期間中、振り返りの記録、動画や資料の共有、メンバー間でのコミュニケーションのために、オンラインツール（Notion、Zoom等）を積極的に使用する意思があること（現時点で使いこなしている必要はありませんが、新しいツールへの挑戦を厭わない方を歓迎します）。

## 6. プログラム参加に関わる費用

プログラム実施に関わる対面研修の交通費や宿泊費、ビザなどの諸経費、イベント参加費などは主催者で負担いたします。

※上記以外の費用(パスポート取得・更新費用等)は参加者の自己負担となります。

## 7. 選考スケジュール

- 7月2日(木)～7月20日(月)日本時間19:00(締め切り厳守):応募申請受付  
※応募時には応募フォームの入力のほか、履歴書のご提出をいただきます。  
※オンライン説明会を実施いたします。詳細は、9.オンライン説明会の開催 をご確認ください。
- 7月下旬:書類選考通過者を対象とした面接選考(オンラインにて1時間程度を予定)
- 8月上旬:選考結果通知
- 8月下旬:所属先からの正式参加許可の確認締め切り(合格者のみ)

## 8. 応募方法

以下の応募フォームより、必要事項の入力および提出書類をアップロードしてください。

【応募フォームURL】:

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfNkViTQMjP8sZmHoM06Fnov9p936kMeVHuSe9EXjMI5ieZ3Q/viewform?usp=dialog>

## 9. オンライン説明会の開催

プログラムの全体像やスケジュール、選考の詳細などを直接ご説明します。応募を検討されている方は、ぜひお気軽にご参加ください。

日程が合わない場合は個別相談も受け付けます。

- 開催日程(2回とも同じ内容ですので、ご都合の合うほうにご参加ください)
  - 第1回:7月8日(水)16:00～17:30
  - 第2回:7月12日(日)11:00～12:30
- 開催形式:Zoom(オンライン)※途中入退室可能
- 当日の内容(予定)
  - プロジェクトの背景と目的
  - 2年間のプログラム詳細・スケジュール

- 選考について
- 質疑応答
- 参加申込方法

下記から事前にお申し込みください。登録メールアドレス宛にZoomリンクをご案内します。

【説明会申込URL】:

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdcBzeO1\\_DjkzpyTG\\_y5EAtlgpA239p\\_aulhTUwqr28OUMIA/viewform](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdcBzeO1_DjkzpyTG_y5EAtlgpA239p_aulhTUwqr28OUMIA/viewform)